

てんぱく プレーパーク の会

団体名・概要

てんぱくプレーパークは1998年に地域住民により開園しました。太白公園の冒険の山の一角にあり、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切に、誰もが利用できる遊び場です。

プレーパークには、子どもの立場に寄り添う大人「プレーリーダー」が常駐し、安全に配慮しながら、子どもを見守ります。プレーリーダーの給与や諸々の費用を会費や寄付で賄い、運営しているのが「てんぱくプレーパークの会」です。

合言葉「けがと弁当は自分もち」のもと、のこぎりや釘・金槌を使っての工作、こま回し、火おこし&べっこうあめ作り。走る、飛ぶ、だけでなく、眺める、ゆっくりするなど子ども達は思い思いに自分のしたいことをして過ごしています。平日午前は主に未就園児親子、午後からは幼児から高校生までの様々な子ども、月に1度の土日開園時には、遠方からの家族連れなども訪れ、1日平均約60人、年間延べ1万人以上が利用しています。そして、曜日に関係なく、子どもから大人まで異年齢の集団の中で遊んだり、過ごしたりする日常がここにはあります。

基礎工事

H26.2

私たちは、
鉄筋を切る、
曲げる。
番線を巻く。



本工事

H26.2 ~ 3

愛知県産材を使って
建設しました。



塗装作業

H26.2 ~ 3

壁材全てを
2度塗りしました。
服には、その証が
たくさんできました。



小屋の愛称募集

H26.3 ~ 4

それぞれの想いをこめて
さまざまな名前を
考えました。



竣工式

H26.4.12

プレーパーク会員、
地域の皆さま、
子どもたちと完成を
祝うことができました。



「プレーハウス」は、本助成金と、地域の皆さま、名古屋市緑のパートナー関係者、全国のプレーパーク関係者、てんぱくプレーパーク会員の皆さまからの寄付によって建設することが出来ました。

これからのプレーパーク活動の拠点が出来たことを心より感謝いたします。

